

2017 農業と自然を体験 砥山農業小学校通信

痛さも感じる日ざしの下で ジャガイモ収穫

朝から晴れわたり、陽射しが肌に痛いように感じられます。4回目の授業は札幌の最高気温 29.2℃の中で行われました。



はじめに、前回の授業で制作した土器をブロックで囲み、中に木の枝やワラを敷いた炉に並べて野焼きをしました。続いて第1回の授業で植えたジャガイモを収穫。農業小学校の本格的な収穫です。収穫したばかりの畑は柔らかく、土をならしてから大根の種をまきました。

午後からはストーンクラフトを実施しました。子どもたちは夏休み中の陶芸作品や石の作品が自由研究として最適のようです。



【写真左上：ジャガイモ収穫】

【写真上：縄文人に倣って火入れの前にお祈りしました】

陶芸作品の野焼き 10:20~

第3回の授業で果樹園の池の底から取った粘土でいろいろな形の土器を制作して今回の授業まで自然乾燥させていました。



【炎の迫力に驚きの野焼き】

ブロックで作った炉には木の枝やワラが敷き詰められ、そこに作品をスタッフが慎重に並べて、その上にみんなでワラや木の枝を積み上げてから火の神様に祈りして点火。大人の背たけ以上に燃え上がった炎に、子どもたちからは驚きの声が上がりました。今回はブロックを使って空気の通りを良くして燃焼時間を短くする工夫がなされました。

焼き上がりは明日の午後の予定です。次回の授業(9月10日)には受け取れます。

ていました。親子で土を掘り中のジャガイモを集めました。クワで土を掘り返すと、たくさんのジャガイモが出てきました。今年の収穫は、キタアカリが4箱、男爵が3箱、アンデスレットが2箱の合計で9箱でした。

収穫したジャガイモは昼食時にゆでて試食したほか、袋に詰めて持ち帰りました。

ダイコンの種まき 11:20~

ジャガイモが収穫された跡は土が軟らかく解かれて大根を植えるためには好都合。レーキで土をならして畝の中央にメジャーを置いて、その両側10センチごとに種を植えました。



【小さな種に四苦八苦】

子どもたちは、収穫される大根の大きさに比べて種が小さいことに驚いていました。

今回種を植えた大根は、10月に開催される交流会の料理に利用されます。

虫捕りゲーム 11:40~

果樹園ではたくさんの昆虫を見かけることができます。その昆虫に点数を付けて、網を使って捕まえるゲームを行いました。



【虫捕りゲームのルール説明】

ルールは、同じ虫を捕まえても点数は増えないこと、虫を痛めないように直接手で触らないこと、点数を確認したらずく離すことです。

気持ちが悪いと虫に触ったことのない子もいました

が、ゲームの中では虫を求めて園内を駆け回っていました。

ストーンクラフト制作 13:20~



さまざまな形・大きさの小石がテーブルに載せられ、子どもたちはその中から完成後の石の作品を思い浮かべて、小石を拾い出していました。この小石は校長先生があらかじめ川に出向いて集めてくださったものです。



【写真上：完成した作品 中：石選び 下：イメージに合わせて接着】

選出した小石を台木に並べてみます。作品のイメージに合うかどうかこの段階が一番難しいようです。何回も石を選び直すお友達もいました。次にホットボンドで石を接着したり積み上げたりして、それから絵具でペイントを施して作品を完成させました。

完成した作品を見て、子どもたちの発想の豊かさに驚かされました。

ジャガイモ収穫 10:30~

5月の第1回で植えたジャガイモの収穫。

畑は一面の雑草でおおわれており、その中にジャガイモの茎が倒れていました。

マルチをはがすとさまざまな大きさのジャガイモが顔を出し



【写真上：収穫風景 下：ジャガイモ3種】

8月6日の活動



約1か月間 自然乾燥させました



作品を優しく包むようにわらを敷きました



わらを焼いた灰も必要です



木の枝をたくさん積み上げ



それぞれの思いを込めて祈り



火が入りました



ジャガイモ収穫 マルチを剥がしました



茎を掴んで引き抜くとこうなります



豊かな収穫



三種類に仕分けします



みんな一生懸命働きました



ダイコン種まき



石をイメージ通りにまとめるのが難しい



ホットボンドで接着



絵具で彩色



力を合わせて仕上げ



八剣山を東側から見る (8月6日)

発行：砥山農業クラブ
(代表 瀬戸修一 校長 桜井 学)
住所：〒061-2275
札幌市南区砥山126番地 八剣山果樹園内
電話・FAX：011-596-2280
E-mail: info-h@hakkenzan.jp
<http://www.hakkenzan.com/nosyo/>

【写真・文：塚本栄広】